

McAfee ePolicy Orchestrator の管理 (5.9)

研修サービス / インストラクターによるトレーニング
このコースを終了すると最大 32 の CPE を獲得します

「McAfee ePolicy Orchestrator の管理」コースでは、受講者が、McAfee ePolicy Orchestrator (McAfee ePO) ソフトウェアを使用して、McAfee 製品の集中管理と展開のメリットについてきめ細かなトレーニングを受けることができます。管理者がセキュリティソリューションの機能を完全に理解できるようにすると、誤った構成のリスクが軽減されるだけでなく、組織が導入時から最大の保護を受けることを保証されます。

アジェンダの概要

1 日目

- ようこそ
- Security Connected と McAfee ePO ソフトウェアの概要
- McAfee ePO ソフトウェアの配備
- McAfee ePO ソフトウェアのインストール
- 権限セットとユーザーの管理
- システムツリーの作成と配置
- タグカタログの使用

2 日目

- システムツリーのソート
- McAfee Agent
- システム情報
- クライアントタスク
- ポリシーの管理

対象者

このコースは、エンドポイントセキュリティに従事するシステム管理者、ネットワーク管理者、セキュリティ担当者、監査人、コンサルタントを対象としています。

アジェンダの概要

3 日目

- 管理対象システムに対するソフトウェアの配備
- リポジトリ
- リポジトリによる製品とサーバーのメンテナンス
- ダッシュボードとモニターの管理
- クエリとレポートの操作
- 自動応答と通知

4 日目

- データベースの保守とサーバーユーティリティ
- 災害復旧
- エージェントハンドラ
- 不正システムの検出

学習目標

ようこそ

McAfee からの情報提供、サポートリソースとフィードバックメカニズムに精通します。

Security Connected と McAfee ePO ソフトウェアの概要

Security Connected モデル、McAfee ePO ソフトウェアの機能とソリューションコンポーネント、およびアーキテクチャについて理解します。

McAfee ePO ソフトウェアの配備

配備の際の考慮事項の確認、配備シナリオとソリューションの説明、McAfee ePO プラットフォームの要件の確認、データベースのサイジングに関する検討事項について理解します。

McAfee ePO ソフトウェアのインストール

インストールの要件、推奨事項、ベストプラクティスを確認し、新規インストールとリカバリインストールを区別します。新しいインストールのさまざまな配備オプションを確認し、区別し、McAfee ePO ソフトウェアをインストールし、インストール後のタスクを実行し、McAfee ePO ソフトウェア環境のセットアップします。

権限セットとユーザーの管理

個人設定、ユーザー、アクセス許可セットの設定、カスタムアクセス許可セットの作成、ユーザーの作成、アクセス許可セットの割当、アクセス許可のアクセス許可の確認、McAfee ePO ソフトウェアと Microsoft ActiveDirectory ユーザーアカウントの構成、およびユーザーの自動作成を構成します。

推奨する事前知識

- Microsoft Windows およびシステム管理、ネットワーク技術に関する実務知識。
- コンピュータセキュリティの概念の基本的な理解。

関連コース

- McAfee Advanced Threat Defense の管理
- McAfee Active Response の管理
- McAfee Data Loss Prevention Endpoint の管理
- McAfee Endpoint Security の管理

研修サービスの紹介

システムツリーの作成と配置

McAfee ePO システムツリーの概要をあげ、システムツリーを作成するさまざまな方法を使用し、システムツリーを構成するさまざまな方法を説明し、ユーザーアカウントでシステムツリーを管理できるようにアクセス許可セットを作成します。

タグカタログの使用

新しいタグビルダを使用してタグをすばやく作成する方法、タググループ間でタグを編集、削除、移動する方法、およびタグを使用してタグを作成する方法（手動で適用）と条件ベースのタグ（自動およびオンデマンドで適用）などの管理ユーザーのアクセス許可を有効にする方法を学びます。

システムツリーのソート

システム基準の組み合わせを使用してマシンを動的に McAfee ePO システムツリーにソートする方法、システムツリーの適切なグループにマシンを動的に移動する方法、IP アドレスのソート基準が異なるグループ間で重複しないように IP の整合性を確認する方法を学びます。

McAfee Agent

McAfee Agent を定義し、その目的と主要な特徴と機能を説明し、McAfee Agent のインタフェースをナビゲートします。

システム情報

管理対象要素の詳細情報の表示、説明、ビューのカスタマイズ、システムモニタの表示とカスタマイズを行います。

クライアントタスク

クライアントタスクの目的を説明し、クライアントタスクの概念について伝え、クライアントタスクカタログにアクセスしてナビゲートし、クライアントタスクタイプを識別し、クライア

ントタスクを追加、複製、編集、スケジュール、および削除します。

ポリシーの管理

ポリシーの目的の説明、ポリシーオブジェクトの作成と編集、ポリシー設定と割り当ての管理、実行中のポリシー継承の表示、およびクライアントマシン（エンドポイント）のポリシー変更の実施します。

管理対象システムに対するソフトウェアの配備

必要なソフトウェアコンポーネントを取得し、ソフトウェアマネージャの仕組みを説明し、手動で拡張機能とソフトウェアコンポーネントをインストールし、必要なソフトウェアコンポーネントを手動でチェックインし、製品配備プロジェクトとクライアントタスクを区別し、製品配備プロジェクトを作成するために使用されるさまざまな方法を確認します。

リポジトリ

リポジトリの種類と内容を説明し、リポジトリの利用可能なブランチについて説明します。デフォルトのリポジトリを確認し、フォールバック、分散、SuperAgent、管理対象外リポジトリを作成します。リポジトリの内容を変更したり、サイトリストをエクスポートします。

リポジトリによる製品とサーバーのメンテナンス

McAfee ePO ソフトウェア管理システムをスケジュールまたは手動のクライアントタスクで更新することや、グローバル更新機能を設定して McAfee ePO ソフトウェア管理システムを自動的に更新します。また、McAfee ePO ソフトウェアリポジトリをリポジトリのプルおよび複製タスクで管理し、クライアント更新タスクのトラブルシューティング方法を理解します。

研修サービスの紹介

ダッシュボードとモニターの管理

McAfee ePO ソフトウェアに含まれるデフォルトダッシュボードの確認、ダッシュボードへのアクセス、ダッシュボードの複製、ダッシュボードの追加、ダッシュボードのアクセス権の編集と割り当てを行うことで、ダッシュボードとモニターの目的や機能を理解します。

クエリとレポートの操作

McAfee ePO データベースに対し、クエリビルダを使用して独自のクエリを作成し、マルチサーバーロールアップレポートの実行方法を確認します。また、クエリのアクセス許可を構成し、マルチサーバーロールアップクエリのアクセス許可や McAfee ePO ソフトウェアの外部で閲覧するためのクエリデータのエクスポートを構成します。

自動応答と通知

自動応答ルールを使用して、アラートを作成し、あらかじめ決められたアクションを実行、自動応答を構成、自動応答のアクセス許可セットを一覧表示し、通知の連絡先を構成する方法を理解します。

自動応答と通知

自動応答ルールを使用して、アラートを作成し、あらかじめ決められたアクションを実行、自動応答を構成、自動応答のアクセス許可セットを一覧表示し、通知の連絡先を構成する方法を理解します。

データベースの保守とサーバーユーティリティ

定期的に行う必要があるメンテナンスタスクを確認し、メンテナンスに使用できるプライマリ SQL Server および McAfee ePO ソフトウェアツールを利用して、推奨されるデータベース監視モデルを構成します。また、データのバックアップおよびパージ方法、メンテナンス自動化の方法など一般的なサーバータスクを理解します。

災害復旧

災害復旧機能の説明とその仕組み、スナップショットのサーバータスクの使用、ダッシュボードからのスナップショットの取得、障害復旧シナリオ例の提示、McAfee ePO ソフトウェアの初期インストールと復旧インストールの相違点、災害復旧のためのプラクティスを学びます。

エージェントハンドラ

エージェントハンドラの機能と利点を理解し、エージェントハンドラの展開シナリオと展開の計画、エージェントハンドラのインストールと構成、エージェントハンドラへの McAfee エージェントの割当、割当の管理、エージェントハンドラグループの作成と管理を行います。

不正システムの検出

Rogue System Detection (RSD: 不正システム検出) の目的とその仕組みの説明、ネットワーク上にセンサーを設置する最適な場所の決定、センサーの検出結果と統計の調査、Rogue System Detection のポリシーの作成、ネットワーク内のセンサーへのセンサーのインストール、利用可能な Rogue System Detection クエリを表示する方法を学びます。



マカフィー株式会社 www.mcafee.com/jp

東京本社 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂 1-12-1 渋谷マークシティウエスト 20F TEL: 03-5428-1100 (代) FAX: 03-5428-1480
西日本支店 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島 2-2-2 近鉄堂島ビル 18F TEL: 06-6344-1511 (代) FAX: 06-6344-1517

本資料は弊社の顧客に対する情報提供を目的としています。本資料の内容は予告なしに変更される場合があります。本資料は「現状のまま」提供するものであり、特定の状況あるいは環境に対する正確性および適合性を保証するものではありません。McAfee および McAfee のロゴは米国法人 McAfee, LLC またはその関係会社の登録商標です。その他すべての登録商標および商標はそれぞれの所有者に帰属します。Copyright © 2018 McAfee, LLC